

協働評価シート

事業名		外国人にも優しい「観光+まち」案内事業		実施年度	平成22年度
部局		市民部		課所	市民活動推進課
団体等の名称		元気！プロジェクト			
評価項目		評価者	評価	左の評価の説明	
相互理解	それぞれの特 性や立場を 理解し合 えたか	団体等	A	市は広域に公平に、団体は、外国人にと って楽しいことをALTさんの協力 も得て、お互い尊重できた。 十分認識、尊重できた。	
		市	A		
		相互協議 結果		市ができる範囲、団体のできることをお互 い理解し、仕事を分担できた。	
対等	双方が対 等の立っ ていたか	団体等	A	市と共に同じ立場で、パンフレットに 対する意見を出して、取り入れること ができた。 団体も市も同じ立場で意見を出し合 い、対等に協議できた。	
		市	A		
		相互協議 結果		市も団体も無理することなく対等に意見を出 し、協議できた。	
自主	市民の自 動的な活 動が尊重 されたか	団体等	A	自主的に外国人と、刀鍛冶の工房や和 文化に触れて、大島の自然を体験して 地域との交流が増え、事業実施がスム ーズに遂行された。 団体が積極的に外国人から情報収集を 行い、外国人が知りたい情報を取り入 れることができた。	
		市	A		
		相互協議 結果		自主的活動が広がりを見せ、内容のふくらみ につながった。	
自立	市民の自 立化を阻 害しなか ったか	団体等	A	文化的なイベント等に、外国人を呼ぶ ことができ、市民団体が主体で、新た な国際的な交流が始まった。 委託事業でもあり、行政への依存はな く、団体が積極的に実施していつてく れた。	
		市	B		
		相互協議 結果		市への依存はなく、新たな国際交流が始まる など、事業に広がりを見せた。	
目的共有	双方が協 働の目的 を共有し ていたか	団体等	A	外国人に新居浜をもっと知ってもら う目的を共有でき、グローバルパー ティーに市も参加して交流を深めた。 目的は共有できていた。	
		市	A		
		相互協議 結果		市と団体の良さを出し合い、よりよいもの を作るという目的を共有し、お互い意見が出 せた。	

情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しなから事業ができたかを評価。	団体等	B	外国人と交流する予定がはっきり決まらないことが多く、市への情報が遅くなったことがあった。
			市	B	団体の事業の進み具合がわかりにくいことがあった。
			相互協議結果	前半に行っていた外国人とのワークショップの情報などについては報告が少し遅かったが、リーフレットの内容などについては、随時情報提供もあり、協議しやすかった。	
公開	双方の関係を十分に開きかけたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	B	最初は小さな交流が主だったが、秋以降はパンフレット作りも具体的になり、市への公開が増えた。
			市	B	市民への公開はHPや市政だよりである程度は公開できた。国際都市づくり委員会の委員や県の会議などでは紹介できた。
			相互協議結果	ある程度の公開はできた。	
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A	市の施設で、留学生との交流もあり、外国人講師の参加で、よりよい協働的な相乗効果があった。
			市	A	行政では思いつかない視点での「観光」が団体により出せ、より外国人に魅力あるものとなった。
			相互協議結果	お互いの協力の下効果的に実施できた。	
市民の関心や参画意欲を引き出す事業が開かれたか、		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業が開かれたかを評価。	団体等	B	市民の参加は、グローバルパーティーや、まちづくり協働オフィスを通じた交流で、パンフレット作りに協力を得た。
			市	B	国際関係のイベントなどで観光リーフレット(案)を配布し、市民の意見なども聞けていた。
			相互協議結果	イベントなどで、市民の意見を聞くことができ、それなりに参画意欲を引き出せたと思う。	

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか等（自由記述）

団体等	外国人の視点で、観光パンフレット作りを進める際、愛媛SGGクラブ新居浜支部、新居浜ガイドクラブ、ALT、外国人講師、帰国した人達の協力を得られた。 新居浜のHiddenTreasures（隠れた宝物）を紹介できるパンフレットが出来たことは、グローバルパーティーの会場で、多くの外国人に喜ばれた。また、アメリカに戻った外国人からも、メールを頂いたり、国際的なインフォメーション活動の1歩となった。
市	行政の視点では思いつかないような外国人に興味ある観光資源を多く掲載できたり、個性的な絵の表紙の観光リーフレットになり、また、委託団体の繋がりのある多くの人達を巻き込みながら（協力を得て）事業をすすめることができ、目的は達成されたといえる。反省点としては、お互いの打合せや話し合いの時期が後半に偏ったため、コンスタントに事業の進捗状況の報告や、管理を行っていけばよかった。
相互協議結果	協働で行うことにより、団体の良さがかなり引き出せ、外国人のための特徴ある観光リーフレットに仕上がった。各種団体との協力の下事業をすすめることができたので良かったと思う。協力団体も、このように、市と団体の協働事業に関わったという経験が、今後自分達もまちづくりに参加するという意識につながっていくと思う。

